

集団宿泊終了、

2泊3日の思い出を大切に！！

4日日曜日、全員そろって学校を出発。いよいよ、集団宿泊教室が始まりました。水俣に着くと県環境センター前の芝生で昼食。風もなく穏やかな不知火海をバックに記念撮影をしたあと、ミナマタのフィールドワークに出発しました。百間排水口、埋立地、坪段、湯堂、茂堂を



見学していきまし
た。時間が止まったよ
うな静かな漁村を回
りながら、かつてこ
の地にあった人々の日常が水俣病によっ
て奪われたしまったことへの悲しさと無
念さを感じずにはられませんでした。

ONE TEAM～思い出に残る最高の集団宿泊教室～
テーマは達成できましたか？これからの生活にどう活かすかが大切です。

ミナマタ学習

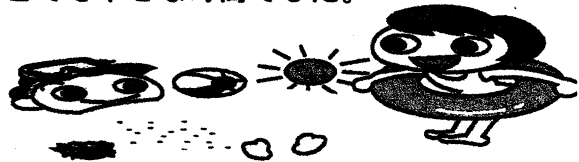
青少年の家に到着。夜の活動では、緒方正実さんの講話を聞きました。娘さんに、正直に生きることの大切さを、常々話しておられた緒方さん。その娘さんから、「私も正直に生きるから、お父さんも正直に生きて」と言われたことをきっかけに、水俣病と正面から向き合うことができるようになったということ。そして、それまでは、水俣病によって、失うことが多かった人生だったけど、向き合えるようになってからは、何が本当なのか知ることができ、得ることの多い人生となった」というお話をしていただきました。講話後の教頭先生とのお話の中で、1年生の真剣に聞いている態度に本当に感心されていたということでした。

マリン活動

2日目は、いよいよマリン活動です。次第に風が強くなり、どうなるか心配しましたが、予定通り実施。遠くからながめていると、權と權ぶつかり合う光景が続出。さぞ權も痛かろうと思いがめっていると、後半になるに従って、少しずつぶつかることも減り、お互いの息が合っていました。不思議なものです。息が合うと何事も、すごい勢いで前進できるということを実感できたのではないかと思います。待っているクラスは近くのパチで過ごしました。靴を脱いで海につ

かり、貝殻を拾ったり波から逃げたり、楽しい時間が流れていきました。お昼からは、レクレーションとドッジビーでもりあがりました。

夜は、クラスマッチです。体育大会でおこなう学年競技を種目として実施しました。「キャーキャー」「ヒーヒー」、練習時間・本番と大盛り上がりでした。結果は3組が優勝。レクレーション係お手製の賞状をもらってうれしいそうでした。自分たちのクラスがゴールした後も、まだゴールしていないクラスを応援する姿がありとても感心しました。同時にみんなの温かい気持ちが伝わってきてとても幸せな時間でした。



集団宿泊最終日の3日目。オリエンテeringは、どのクラスも班で楽しそうに、目印を探し歩き回りました。地図を見ることが少し難しかったのか、同じ所をぐるぐる回ったりしている班も多かったようです。

この3日間の集団宿泊教室で、みんなの話の聞き方、あいさつ、そして時と場に応じた態度等、そのどれもが時間がたつにつれて改善されいきうれしかったです。そして何より、みんながお互いのことを理解し合え、わたしたち教師もみんなとの距離を縮めることができたととても有意義な集団宿泊でした。